

平成 28 年 第 5 回 社会教育委員会会議録

開催日時 平成 29 年 1 月 31 日 (火) 午後 1 時 30 分～

開催場所 恵那市役所 西庁舎 4F 4A 会議室

出席委員	委員長	近藤 慎平
	副委員長	林 達夫
	委員	長谷川康子
	委員	本藤 和孝
	委員	宮地 茂嘉
	委員	近藤 修次
	委員	菱川 和之
	委員	鈴木八枝子
	委員	森川 伸江
	委員	遠藤 茂樹
	委員	柘植 弘成
	委員	田口 容子

(敬称略)

説明のため出席した社会教育委員会事務局等

教育長	大畑 雅幸
まちづくり推進部長	服部 紀史
健幸まちづくり課長	梅村 浩明
生涯学習課長	伊藤 英晃
まちづくりセンター所長	熊谷 春彦
中央図書館長	佐々木和美
まちづくりセンター社会教育指導員	遠藤 滋
生涯学習課社会教育係長	三浦 和彦
生涯学習課総括主査	平林 範子

議 題

1. 平成 28 年度恵那市社会教育委員会第 4 回会議録の承認
2. 平成 28 年度各課の主要事業について
3. 第 4 期家庭教育支援計画状況について (修正確認)
4. もっと知ろう！社会教育委員について

開 会 (午後 1 時 30 分)

教育長あいさつ

- ・新成人と H28 年度出生数の比較による学校規模の状況について

・ 恵那市型コミュニティ・スクールの構築について

子ども達を中心とした教育については教育委員が特化して行いますが、もっと広い教育については、さまざまな情報を得ていただきながら社会教育委員会で推進していただけるようお願いしたい。

委員長あいさつ

教員のOBの方が中心になってコミュニティ・スクールをしていただけるということで大変ありがたい。塾のない地域ではだんだん親も離れていくのではないかと感じていましたが、学習の保障があるということは地域にとって非常に住みやすいことに繋がると思います。折角よい取り組みなのにそれが地域にあまり知られていない。対象の親や中学3年生の親は知っているかもしれないが、それ以外の市民にそんな取り組みをしていることをもっとPRし、社会教育委員でもっと働きかけていけるといいと思います。

1 議題1 会議録の承認

平成28年度恵那市社会教育委員会第4回会議録が承認されました。

2 議題2 平成28年度各課主要事業について

各課より報告。

委員長 ご意見をお願いします。

委員 市民会館の取り壊しについて、利用団体等への影響について調査をすすめることあり代替施設の検討となっていますが進んでいますか。

まちづくりセンター長

広さの問題も考えて共同福社会館や文化センターの集会室がありますので、その辺りの利用状況やスペースを順番に調査しています。展示会等の大きな催し物については手狭となり、ご迷惑がかかってしまうのかなと思っています。それ以外の団体は利用頻度が高いですが、限られた団体がほとんどなので、不便をおかけしないように考えていきます。

委員 壮健クラブで大きな展示を予定しているので、その辺りの構想をお聞きしたい。

まちづくりセンター長

今年も壮健クラブさんの展示会にお邪魔をして現場の様子をみせていただきました。聞き取りやスペース的なことも確認しましたが、共同福祉会館では少し手狭かなと思っています。賄いのスペースや控え室も必要なのでその辺りも検討中です。

委員長 その他はよろしいか。

委員 集会室でやった場合は駐車場に困ります。ヒ素の問題があったりした子ども園の場所は駐車場にはできないですか。現在学校が休みの時は小学校の運動場を使用していますが、平日は小学校の運動場は使えません。また、駐車場の関係から集会室と大ホールは同時に使えないというような話も聞きましたがどうですか。

まちづくりセンター長

集会室と大ホールを同時に使わないということを決めているわけではないですが、大ホールを使う大きなイベントがあれば当然自動車の出入りも多くなるので、想定の人数や自動車の台数等を聞き取りして調整し、希望にそえるように気をつけています。また大きなイベントは週末にあることが多いので、現在は学校の運動場を借りて対応しています。

委員 文化センターの駐車場が足りない件について子ども園の予定地を変えることはできないですか。

教育長 今回この用地でご理解していただくために2点勉強をしました。建設検討会議の委員さんは、ほとんど長島の地域協議会の委員さんなので、当然地区の自治会の方々にもご理解をいただいているものとして進めていましたが、実はそうではなかったということが1点、東京の築地の問題と話が重なり、ヒ素の件については、専門の機関で安全が証明されましたが、気分的には安心ができません。安全と安心は別物だということ。待機児童問題もあり、開園は1年ほど遅れませんが、話が進み始めた状況です。

委員 文化センターを建設した当時に想定したよりはるかに自動車社会になっているから、やはり駐車場はなんとかしないといけない問題だと思います。

教育長 確かに休みのイベントのたびに教育施設が駐車場になるのは望ましくないと思いますが現在の状況からなんともならない。たとえ建て替えをすることがあったとしてもなかなか公共施設を動かすというのは難しい。今後の課題ではあると思います。

委員 駐車場を立体化するとなれば建て替えるよりは費用の安くなるのではないで
しょうか。

教育長 今後はそれも含めて検討していくことになると思います。

委員長 市民会館の跡地はどうなりますか。利用方法の候補はありますか。

まちづくりセンター長

跡地については今のところ予定は有りませんが、今のお話でどこも駐車場が足
りませんので、そうなるのか他に建て屋をつくるというのは難しいと思います。

委員長 その他はよろしいか。

委員 「健幸ウォーキングプロジェクトの推進」についてですが、12月8日に「環
境対策協議会」の美化運動で道路のゴミを拾う活動を壮健クラブが中心となっ
て実施し、33団体の参加がありました。ウォーキングと美化を兼ねた活動で
大変好評でした。ウォーキングを推進する時に何かと関連させてすることによ
り、健康にもいいし、会話も生まれる。壮健クラブ以外で地域や自治会など恵
那市全体で取り組めるとよいと思います。

健幸まちづくり課長

参考にさせていただきます。

委員長 その他はよろしいか。

委員長 例えば図書館の郷土資料展示で「黒瀬街道」をとりあげてもらいましたが、中
野方でも地域めぐりで「黒瀬街道」等のイベントをしています。恵那市の広報
と地域の広報で連携して発信すると、ひとつの行事が他との関わりをもつこと
により広がりが出ると思います。

中央図書館長

地域への発信はできていないところがありましたので、来年度是非やっっていこ
うと検討しているところです。ホームページにはのせていますが、それだけで
は発信力が足りないと思います。今回のイベントのことについては、笠周地域
の方にもっと周知をするべきだったと反省しています。

委員長 その他はよろしいか。

委員 中野方は中央図書館の展示室で2回ほど取り上げていただいています。1回目

は中野方のギター、バイオリン、かるた等で資料が大変親切にきちっと貼ってあります。その資料をお借りして地元のふるさとまつりに展示しました。2回目の黒瀬街道についても展示室の資料をみましたが、地元まで足を運び写真を取り、取材をして大変詳細な資料ができています。まだ実現していませんが、中野方の市民三学のほうで勉強会をするといいと思います。

中央図書館長

展示物については、図書館だけで展示して終わるだけでなく希望される方に使ってもらいたいと思います。以前明智の展示をした時の資料を今度明智の講座で使用するようになっていきます。

委員 「地区コミュニティセンターの体制の確立」について、職員の再任用の説明がありました。コミュニティの推進員や主事さんの果たす役割は大変大きいと思います。市民が窓口に見えて何を求めてみえるのか判断することが必要です。地域の事情に詳しいという部分を活かして、少子化で人数が減っている状況をどのように盛り上げ、繋いでいくかを主事さんの会議の中でアイデアをだしてやってみるといいと思います。再任用の方が入られるのも良いが現場を知っている方がいいのではと思います。

副委員長 本当に人選は熱心で地域に密着してもらえる方が必要だと思います。もう一点「地域解決型講座」ですが、地域に課題は沢山ありますが、どのような設定の仕方をされますか。

まちづくりセンター長

例えば飯地では地域の足の確保に一生懸命取り組んでみえます。それが地域計画の中に書かれているということで、それをコミセン講座で学びましょうとなった時に、あまり難しいと人は集まらないと思います。しかし、生涯学習と地域づくりを一体的に進めていくときに、できる限り学んだことが地域づくりに生かしていけるようなしくみを三学の推進員さんや主事さんと一緒に考えていきたいと思っています。今実施している楽しい講座と地域計画や地域課題を考慮しながら学んで生かせる講座の組み立てをしていただければと思います。

副委員長 地域協議会との兼ね合いもありますね。

まちづくりセンター長

三学のまち推進員さんの仕事としてコミュニティと地域を結ぶ、地域協議会また

は地域の運営委員会と連携をしていく役割は大変重要だと考えています。人選についても考慮すべき点があると思います。

委員 講演、研修会があるときに図書館の2階をお借りできると思いますが、どのぐらいの必要がありますか。

中央図書館長

夏は土日にサポーターさんがイベントを企画して利用していますが、その他はほとんど使用していません。

委員

古本市をやっていますね。いいことだと思います。そこへ初めていかれた方が図書館にこんなに沢山の本があることを知り、それから通ってみえます。一人、二人かもしれませんが、あのスペースはいろいろな利用方法があると思います。そこで何かをすることにより、足を運び1階の図書室にも興味をもっていただけるきっかけになると思います。

もうひとつ市民講座ですが、参加して25点で図書カードの500円分がいただけます。すごいことだと思いますが、送付される時にA4サイズの封筒に入ってきます。講座に参加している人はだいたい足を運ぶので、郵送ではなくいつ渡すかを伝え、取りに来ていただく。そうすることによりまた、次回のチラシをみてもらい、また足を運ぶという人が動く方法を考えるといいと思います。

まちづくりセンター長

ありがとうございます。改善策を考えたいと思います。

委員長 その他はよろしいか。

委員 明知鉄道と図書館のコラボというのはいつ頃計画されていますか。

中央図書館長

3月の終わりから4月の中頃に明知鉄道の写真展を計画しています。また詳細をお知らせしたいと思います。

委員 ウォーキングイベントが雨天で中止になり非常に残念でしたが、2月25日にスポーツ講演会がありますので広めていただければと思います。

副委員長 岩村城ですが、今お城はブームですので、PRしてもらえると良いと思います。

生涯学習課長

今年は大河ドラマの直虎の関係で岩村がキャンペーンをしています。岩村城は知名度がありますが、最近では江戸時代より前の戦国時代の城にも関心の裾野が広がっています。そのため、明知城にも話題にあがっていると聞いています。

副委員長 ブームの時に一気に広めてもらえるといいと思います。

委員長 その他はよろしいか。

委員 子ども教室ですが、27年度は子どもたちが紙粘土で作成したお雛様を行在所に展示しましたが、28年の3月は工事中で展示ができませんでした。図書館で展示ができたらいとおもいますが、どうでしょうか。長島小、大井小、大井第2小学校、とあるので、飾ったものを見学に行ったついでに本を借りることができればと思います。

中央図書館長

是非利用していただきたいと思います。

生涯学習課長

ひし屋資料館も利用していただけますのでお願いします。

委員長 その他はよろしいか。

委員 「運動習慣はじめの一步」について、幼児期に身体を使う習慣が身に付くか身に付かないかで生涯にわたって大きな影響がでるということを新聞の記事で目にしました。幼児期に「楽しく」この習慣が身につくことで、健康寿命ものびると思いますので是非進めていただきたいと思います。

健幸まちづくり課長

中部学院大学の西垣先生にお願いをして、実際に子ども園に出向き実技を交えて進めています。プログラムを実践するにあたり将来的にも子どもたちの成長を追ってデータをとって検証をしていきたいと思っています。

3 議題3 第4期家庭教育支援計画について（修正確認）

事務局 先日郵送で計画を送付させていただいたところ大変貴重なご意見をいただきありがとうございます。いただきましたご意見にそって修正した個所を別紙としてまとめありますので、確認をさせていただきます。資料をご覧ください。

計画の2ページと「ステップ親子学びプラン(修正)」併せてご覧ください。2行目ですが、「ここ恵那市にも着々と」とありますが、「着実に」とさせていただきます。

同じく2ページの下から2行目『恵那市次世代支援計画』となっておりますが、「行動」が抜けておりましたので『恵那市次世代支援行動計画』に修正しました。

3ページの(3)他計画と本計画の関係で今回策定する『家庭教育支援計画』と『三学のまち推進計画』が並列となっておりますが、この計画は『三学のまち推進計画』の施策のひとつであるから矢印を入れたほうがよい、というご意見をいただきました。他にも『三学のまち推進計画』の施策に位置づけられている計画を表記し位置を図の中心にしました。

4ページの1行目から5行に他計画と本計画の関係が書かれていますが、この部分をもう少し具体的に記述する必要がある、とご意見をいただきましたので、記述を修正文の4ページ目1行目から8行目のようにし「学びをとおして次世代を担う子どもを育成する家庭を支えていく」ものと変更しました。

8ページ目下から7行目からの1文が長いため「母親や子どもたちの孤立した状況を克服し、子育てを楽しく、さらに子どもたちが心豊かに生きる力を育むことができるようにするには、親同士の結びつきや地域との結びつきが大切です。」までで区切り「そのために社会教育や公民館(コミセン)、図書館、学校、その他の子育て等関連機関が保護者や地域としっかり連携し、地域全体で家庭や子どもたちを支えることが重要です。」で1文の2文に分けます。

24ページの第4章ですが、大きく変更をさせていただきました。修正した資料をご覧ください。

(1) 計画の基本的な視点を三段階に分け

- ① 子の発達段階をたどる。
- ② を7つのステージとして子どもの発達に応じた親育ちの目標の表をいれ、計画の1行目の幼稚園・保育園在園期を「在園期」に訂正しました。
- ③ をネットワークを構築する、とイメージしやすいように図をいれました。

ネットワークを構築する説明文の下から5行目「市内では、市青少年育成市民会議」の後に「子ども園・保育園保護者連合会」を加筆しました。

みなさんに配布してあります計画は、基本目標を「心豊かでたくましい恵那っ子を育てよう」とさせていただきますが、ご意見の中に、計画の基本理念は『ふるさと・ひとそだて恵那プラン・恵那市教育振興基本計画』と同様にし、第5章の「具体的な施策の展開」へと続くようにして、その施策にした具体的な理由について述べる方がよいのではないかとのご意見をいただきましたので、第4章の(2)を「計画の基本理念」とし、(3)として、その施策の体系を加えました。

続いて第5章36ページの(4)妊産婦・乳幼児・在園期・小学校期への切れ目のない支援の表をごらんください。(修正)資料のページは38ページです。乳幼児期の家庭教育学級と放課後子ども教室推進事業の間に放課後児童健全育成事業(通年)

と（季節）を追記させていただきました。

これに放課後子ども教室推進事業を合わせ、全ての小学生が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行う恵那市の「放課後子ども総合プラン」とする計画の38ページへとつづきます。加筆して有ります関係上、修正文では40ページとなっておりますので、お願いいたします。

修正については以上ですが、今後どのように計画を啓発、または活用していくかについて三浦より説明させていただきます。

社会教育係長

啓発についてですが、関係部署、各公共機関に配布するとともに広報・ホームページに掲載し、ダウンロードもできるような方法を検討しています。また配布先については男女共同参画プラン等の配布先と、小中学校、子ども園で周知できるようにし、近隣の市町村等にもお知らせをできればと思います。「家庭教育支援企業登録」をしている事業所にも呼びかけて一読してもらえよう 500 部ほど予定していますが、420 部をまずは配布しようと考えています。

また、活用については再度計画をご覧いただき、第6回の委員会でご意見をいただければと思います。

委員長 ご意見をお願いします。

委 員 修正の27ページですが、下から5行目です。「子ども園・保育園保護者連合会」となっていますが、恵那市には幼稚園もありますので表記の仕方を確認してはいかがでしょうか。

もう一点下の図ですが、行政と市民の位置を上下入れ替えたほうが良いと思います。また一部の団体を表記してあるので、団体の後に「等」といれると良いのではと思います。特に図は目立ちますので、再度チェックしていただければと思います。

事務局 ありがとうございます。再度幼児教育係へ確認をさせていただきます。

委 員 8ページの「お年よりも」という表現ですが、「高齢者」という表現のほうが良いと思います。

下から10行目の「お年よりも独居世帯が増加し、一日中誰とも話さないお年寄りが地域に存在します。」は、表現が2重になっているので「話さない実情が存在する。」等に文章を検討してはいかがでしょうか。もう一点「青年もまた、ニートなどの増加にみられるように社会から孤立しています。」と書かれていますが、根拠などを確認し、表現をもう少し工夫してはどうでしょうか。

事務局 ありがとうございます。検討させていただきます。

委員 15 ページのアンケートとグラフについてですが、根拠がありますか。

事務局 6 ページに (5) 計画の策定体制と手法がのせてありますが、『子ども・子育て支援事業計画』を策定した時の調査をベースに作成しました。

委員長 出版する工程はどうでしょうか。

社会教育係長

次回第 6 回で最終校正をして決定をさせていただきます。4 月 1 日付けにしたいと思っていますので、印刷までを考えると、来年度の第 1 回目の委員会を目標にできればと考えています。

委員長 再度通したものをいただき、気づいた点があれば次回委員会までに事務局へ連絡をお願いします。

4 議題 4 「もっと知ろう社会教育委員！」について

事務局 今年度皆様に協議していただいたご意見のなかで、今後の活動に関連するご意見を議事録より抜粋したものを別紙に用意させていただいています。「もっと知ろう社会教育委員」が前回配布されていますが、それと議事録の抜粋に目をとおしていただいて、来年度の方向性について意見をいただけますか。
事務局といたしましては、実際に家庭教育の現場を参観していただくことも検討できればと思っていますがいかがでしょうか

委員長 ご意見をお願いします。

委員 現地へ実際に現場をみるということですが、文化財も含め実際知っておくべきだと思いますので賛成です。もう一点組織のメンバーについて、各団体からの充て職ということもあると思いますが、ある市では大学生や、子育て世代の人を委員にしているところもあります。
次の世代を担う人も委員に加えていただけるとさらに活性化すると思います。

事務局 ありがとうございます。検討させていただきます。

委員長 ご意見をお願いします。

委員 人口が減少しているなか発想の転換をし、その基礎となる部分をなんとか考えていかなければならないと思います。社会教育でもう一步踏み込んで社会教育委員会

考えていかなければいけないと思いました。

副委員長 社会教育委員会では家庭教育について考え計画をたてたので、やはり恵那市は子育てを安心・安全にできる魅力のある地域でなければならない。各地域で特色はあってもよいが、家庭教育について、恵那市のどこへいっても一本筋は通っていなければいけないと思います。社会教育では「家庭教育」「子育て」というところに視点を絞って数年は取り組んではいかがでしょうか。そのためには子育て世代、これから子育てをする世代の人の思いや意見を聞くべきだと思います。さまざまな年代の人が交わって知恵を出し合い社会教育についても考えていければと思います。

委員長 将来に向けてこのプランがどのように具体的に効果を発揮していくかということと、事務局より提案がありましたどのように委員会を運営していくかということも含め検討するということですが、先程委員さんの意見にもありました委員会の中に次世代の人を入れていくことも良いことだと思います。総合計画を作るときに市民を集めてヒアリングをしました。同じようにこのプランを進めていくときに何回かの社会教育委員会ときに若い人を集めて座談会のようなことを開催し、意見交換をして若い人の意見を吸い上げ、反映できるとよいと思います。次回の委員会でこのことについても検討できるといいと思います。

社会教育係長

次回社会教育委員会日程の確認

午後 15 時 40 分閉会。

平成 29 年 1 月 31 日

社会教育委員 近 藤 慎 平

社会教育委員 林 達 夫